

鍛練の汗

第8号
R 7.1 1.25
文責
窪田 智久

当日、小学生は集中して楽しそうに参加していました。ほのぼのとした反応に教室が笑顔になりました。



Sの日オータム交竜会が開催されました。この取組は「15の春を輝かせるために」を童マとして、中学校区拡大学校運営協議会（童北中・西部小・東小の3校の代表からなる学校運営協議会）が主体となり行っているものです。本校の2年生が、出身小学校に向き、「15の春を輝かせるために」故郷への愛を深めよう」とついて小学1年生から6年生までに伝える活動を行いました。氷川町の魅力や良さについて、自分たちでテーマを設定し、実際に現地を訪れたり、関係者にインタビューしたりしました。



小学生に伝える活動を通して、ふるさと氷川町の良さを再発見しました。小学生に分かりやすく伝えるためにCS委員さんにアドバイスをいただきながら、写真やイラストを多くしたり、クイズを取り入れたり、キャラクターを採用したりと様々な工夫をしました。発表についてもリハーサルを重ね修正を行った中で、表情が豊かになり言葉も落ち着いて言うことができるようになりました。



また、CS委員の皆様からは、「準備を重ねることに成長を感じた」「自分たちが伝える対象学年の児童のことを考えながら工夫していく」「中学生のがんばりが伝わりさらに応援しあくなつた」などのお褒めのことばをいたしました。



2年生は、CSの日の発表を終えてまとめてことを劇やプレゼンで発表しました。（内容は、上段記事を参考）



1年生は、職業体験学習で学んだことを「おばあちゃんの町あるき」と題して、寸劇を入れ楽しく発表しました。仕事の大変さややりがいについての学びも伝えてくれました。

また、特技コーナーに登場したメンバーは、「すご技」を披露し会場の注目を集めました。これまで準備にあたつてくれた実行委員の皆さんごくろうさまでした。おかげで、また竜中がひとつになることができました。

保護者の皆様には温かい拍手をありがとうございました。

他にも図書委員会による本の紹介や吹奏楽の演奏、各種作品の展示など充実した内容となりました。



校内文化祭

熊本県口ボットコン

11月8日（土）に熊本高専（熊本キャンパス）で行われた、県中学生創造アイディアコンテストに出場した3年生2チームが優勝・準優勝となり、12月に沖縄県で行われる九州大会に出場します。健闘を祈ります。



雪聖さん 日本選手権2位